

提出順	10	発言順	10	令和	
				平成元年 6月 5日	
				午前・午後 8時31分受領	

(2 枚中No. 1)

令和元年 6月 5日

安曇野市議会議長 小松 洋一郎 様

安曇野市議会議員

増田 望三郎

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和元年安曇野市議会 6月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	20分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 財政部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	<p align="center"> 新学習指導要領を 安曇野市学校教育はどう実践していくのか </p>		

質問の要旨 (具体的に記載してください)

現在移行措置期間である新学習指導要領が2020年から小学校、2021年からは中学校で全面实施される。安曇野市の学校教育において、これをどう実現していくのか。

1. 新学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」について

①このような文言を打ち出すことになった社会背景をどう認識しているか

②この趣旨を教育の最前線である学校で、どう理解し、実践していくのか

・移行期に既に行われている取り組みは

・壁があるならばそれは何か

③実際の課題を数値から捉える

不登校児数／全国学力・学習状況調査の結果から

④先生の指導観、地域の大人や親たちの教育観・子育て観～目的と手段を取り違えない～

令和

提出順	10	発言順	10	平成元年6月5日
				午前・午後 8時31分受領

(2枚中No.2)

令和元年6月5日

安曇野市議会議長 小松 洋一郎 様

安曇野市議会議員

増田 望三郎

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和元年安曇野市議会 6月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 財政部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	新学習指導要領を 安曇野市学校教育はどう実践していくのか		

2、主体的な学びを実現するために、学校の「当たり前」を見直す必要があるのではないか。

①「なぜ宿題を出すのでしょうか?」「なぜ定期テストをするのでしょうか?」

この問いに何と答える?

②具体的な見直しの提案

- ・宿題の見直し
- ・定期テストの見直し
- ・固定担任制の見直し

3、「たくましい安曇野の子ども」に向けて

①新たに始まる道徳教科で「哲学対話」を

②子どもたちが自ら問いを立て、自ら問いを見つける力を